

伴走型小規模事業者支援推進事業  
平成30年度 第2回 伴走型小規模事業者支援検討委員会 議事録

1. 開催年月日 平成31年2月7日(木)
2. 開催場所 多賀城・七ヶ浜商工会 多賀城会館3階
3. 開 会 午後2時～
4. 出席者 委員長 山崎 澄義 氏(多賀城・七ヶ浜商工会副会長)  
副委員長 横田 芳博 氏(多賀城・七ヶ浜商工会副会長)  
委 員 大河内克也 氏(多賀城市商工観光課商工課長鎌田氏代理)  
菅野 史朗 氏(宮城県よろず支援拠点チーフコーディネーター)  
南條 晃一 氏(㈱SRDアソシエーツ)  
本田 孝一 氏(多賀城・七ヶ浜商工会商業部会長)  
八嶋 喬 氏(多賀城・七ヶ浜商工会工業部会長)  
阿部 正幸 氏(観光サービス業部会長)  
太宰 悟 氏(青年部長)  
事務局 鈴木課長、今野、八巻、庄子、遠藤、小畑
5. 開会挨拶 山崎委員長の開会挨拶の後、そのまま座長となり、議事に入った。
6. 議題
  - (1) 経営発達支援事業実施に関する評価値(案)について
  - (2) 経営発達支援事業実施状況及び評価について
    - I 経営発達支援事業
      - ①地域の経済動向調査に関すること
      - ②経営状況の分析に関すること
      - ③事業計画策定支援に関すること
      - ④事業計画策定後の実施支援に関すること
      - ⑤需要動向調査に関すること
      - ⑥新たな需要開拓に寄与する事業に関すること
    - II 地域経済の活性化に資する取組
    - III 経営発達計画支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組
  - (3) 今後の経営発達支援事業について
  - (4) その他

## 7. 議事内容

定刻、事務局鈴木の司会により開会。山崎委員長挨拶後、同氏が議長となり議事に入る。

### (1) 経営発達支援事業実施に関する評価値（案）について

議長は上記議題を上程し、事務局に説明を求めた。

事務局鈴木課長は資料1号を基に説明を行った。

議長は出席者に意見を求めたところ異議なく承認された。

### (2) 経営発達支援事業実施状況及び評価について

議長は上記議題を上程し、事務局に議題の一括説明を求めた。

事務局(鈴木、八巻、庄子、遠藤、小畑)の説明の後、議長は出席者に意見を求めたところ、以下の意見が出た後、承認された。

菅野委員	I 経営発達支援事業の事業計画策定支援に関する「③事業計画策定支援に関すること」について、持続化補助金の申請件数が25件と、会員数に対して申請数が少ないと思う。 巡回指導等の中で広く周知を行うべき。 また、ものづくり補助金の件数も1件と少ない。 宮城県全体でのものづくり補助金の申請者、採択者数は山形県の半分であり、県・経産局では、支援機関の働きかけが弱いためにこの現状となっていると考えられているため、制度の啓蒙活動に励んでほしい。
阿部委員	(4)の資金融資制度について、融資制度に関する相談がないため、0件のD判定となっているが、相談者がいなかったのでは評価のしようがないのではないか。場合によってはこの項目を外すべきではないか。
鈴木課長	国に申請している内容を評価することとなっているため、項目から外すことは難しい。
阿部委員	D判定ではなく、「評価なし」とはできないのか。
菅野委員	相談者がいなかったということは、商工会のPR不足ととらえることができる。判定はD評価で報告すべきと思う。
南條委員	絶対評価のため、D判定で報告すべき。
阿部委員	事務局の考えとしてはどうなのか。
鈴木課長	国に示した内容のため、本委員会にて評価をいただき報告をしたい。
阿部委員	分かりました。

以上、上記意見を踏まえ、原案通りの評価で良いか委員長が委員に諮ったところ、異議なく承認された。

### (3) 今後の経営発達支援事業について

本日の意見を取り入れ、次年度も伴走型により地域事業者を支援することで承認された。

### (4) その他

なし。

## 8. 閉会

横田副委員長の挨拶により、午後3時5分閉会。